

ふくい街角景気速報

(令和4年4月分)

調査期間 令和4年4月20日～27日 (回答率：93%)

概況

景気の現状判断DIは52.2となり、前月と比べ8.6ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは44.9となり、前月と比べ1.2ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 52.2 (前月比 +8.6)

- 家計動向関連では、前月に比べ 14.3 ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 1.9 ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ 4.2 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

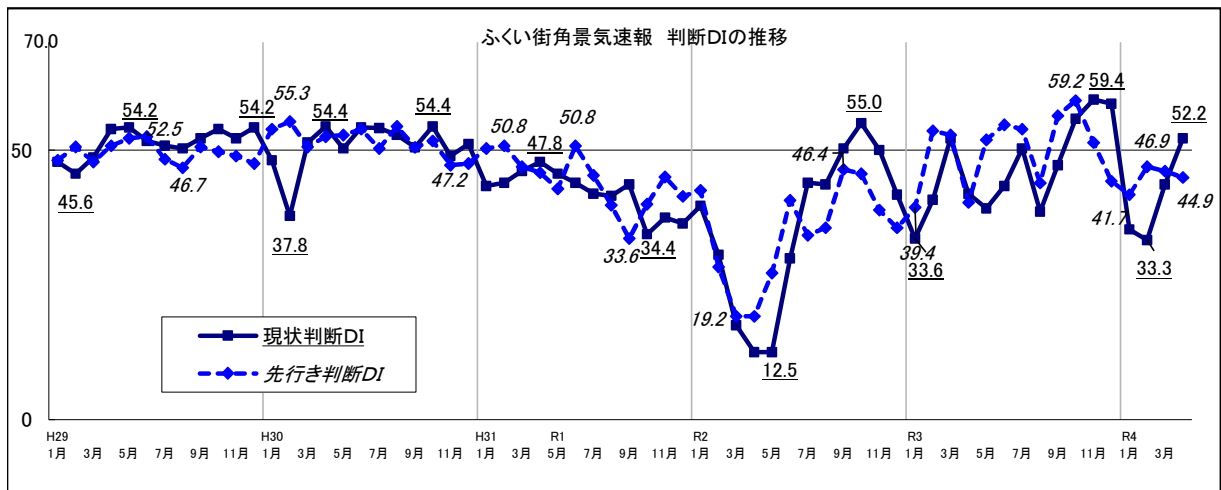
- 来県客の窓口として、少しずつ上昇傾向にある。おみやげ等の購買も上がっている。(商店街)
- コロナ禍の影響は、かなり回復してきたが、材料費や燃料費の高騰で厳しい状況である。(眼鏡関連)

■景気の先行き判断DI 44.9 (前月比 ▲1.2)

- 家計動向関連では、前月に比べ 0.1 ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 2.0 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 6.5 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

- 原価の上昇や電気料など販管費の上昇により物価が上がり、買い控えによる景気後退が発生するのではないかとされる。(スーパー)
- 会社の生産量は高水準であるが、原油高を起因とする物価高、原材料・輸送費の価格上昇など収益が悪化する要因が多く、景気が悪くなる恐れがある。(一般機械関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R3 11	12	R4 1	2	3	4	(前月差)
合計		59.4	58.6	35.3	33.3	43.6	52.2	+8.6
家計動向関連		61.0	57.1	26.1	25.5	42.0	56.3	+14.3
小売		56.9	56.5	28.9	28.1	39.5	54.7	+15.2
飲食		62.5	58.3	12.5	12.5	58.3	70.0	+11.7
サービス		70.8	58.3	20.8	20.8	45.0	54.5	+9.5
企業動向関連		55.0	56.1	44.9	40.2	43.6	45.5	+1.9
製造業		57.0	56.3	45.2	38.0	40.4	45.0	+4.6
非製造業		50.0	55.6	43.8	46.9	52.8	46.9	▲5.9
雇用関連		66.7	72.7	45.0	45.5	50.0	54.2	+4.2

○回答別構成比

	年 月	R3 11	12	R4 1	2	3	4	(前月差)
良くなっている		10.0%	8.9%	3.3%	2.2%	1.1%	3.2%	+2.1
やや良くなっている		35.6%	33.3%	7.8%	4.4%	18.9%	28.0%	+9.1
変わらない		41.1%	43.3%	35.6%	37.8%	44.4%	44.1%	▲0.3
やや悪くなっている		8.9%	12.2%	33.3%	35.6%	24.4%	23.7%	▲0.7
悪くなっている		4.4%	2.2%	20.0%	20.0%	11.1%	1.1%	▲10.0

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R3 11	12	R4 1	2	3	4	(前月差)
合計		51.4	44.2	41.7	46.9	46.1	44.9	▲1.2
家計動向関連		50.0	42.4	44.0	48.9	48.3	48.4	+0.1
小売		48.3	40.3	41.4	47.7	46.8	44.5	▲2.3
飲食		37.5	33.3	25.0	37.5	33.3	55.0	+21.7
サービス		56.3	50.0	54.2	54.2	57.5	56.8	▲0.7
企業動向関連		52.1	45.5	36.8	43.2	41.4	39.4	▲2.0
製造業		52.0	43.8	37.5	43.0	43.3	38.0	▲5.3
非製造業		52.5	50.0	34.4	43.8	36.1	43.8	+7.7
雇用関連		54.2	47.7	47.5	50.0	52.3	45.8	▲6.5

○回答別構成比

	年 月	R3 11	12	R4 1	2	3	4	(前月差)
良くなる		1.1%	0.0%	1.1%	3.3%	2.2%	4.3%	+2.1
やや良くなる		33.3%	14.4%	12.2%	18.9%	25.6%	20.4%	▲5.2
変わらない		41.1%	54.4%	48.9%	47.8%	37.8%	32.3%	▲5.5
やや悪くなる		18.9%	24.4%	27.8%	22.2%	23.3%	36.6%	+13.3
悪くなる		5.6%	6.7%	10.0%	7.8%	11.1%	6.5%	▲4.6

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計動向	福井	観光関係	3ヶ月前は第6波襲来の人流の落ち込みがあったが、コロナ慣れになったことや桜の開花、及びレストランリブランドオープンによる需要の回復があったため。
②やや良くなっている	家計動向	福井	商店街	来県客の窓口として、少しずつ上昇傾向にある。おみやげ等の購買も上がっている。
		嶺南	一般小売店	コロナの影響は多少あるが、慣れにより来客は増えているため。
		福井	百貨店、SC等	イベントの復活、ブロック割など外出、旅行、外食など増加傾向がみられるため。
		奥越	観光物産関係	冬期間の街中観光客は少なく、ようやく観光シーズンを迎え来客が増えた。しかしコロナが今後どうなるかで先行きは不透明。
		奥越	飲食関連	県外からの人出が増えてきた。
		福井	観光関係	コロナ感染状況も高止まり傾向にあり、現在は人流が回復しているように感じている。ビジネス客を中心に首都圏、関西圏からも動きが出てきている。観光目的の動きはまだまだであるが、今年1、2月から比べると回復傾向にある。
	企業動向	坂井	一般機械関連	客先の設備投資が順調に伸びているため。
雇用	福井	ジョブカフェ担当者	福井県内全体とハローワーク福井管内において、求職者数は減少、求人数は増加傾向にあり、有効求人倍率が増加したことから景気が回復していると判断した。	
③変わらない	家計動向	丹南	商店街	中高年層の顧客中心のせいか、第6波の感染者数が下がりきらないせいか、今のところ目立った回復の兆しは感じられない。
		坂井	一般小売店	4月より値上げしているものが多いためか景気が良いとは思わない。
		福井	スーパー	人の動きが活発化していることが認識できる(新幹線や宿泊施設の稼働が上がっている)一方、コロナ収束の見通しが立たず、消費マインドが冷え込む中、ウクライナ情勢など政情不安から、燃料、電気料などの高騰があるため。
		福井	スーパー	現時点では、まだ値上げによる影響が出ていない。
		坂井	スーパー	コロナ感染者の増減によって、来店客数も変動しておりコロナ収束までは一進一退の状況。
		福井	観光関係	店頭をオープンしたが、あまり実績が伸びていない。
	企業動向	坂井	繊維関連	前の動きも出て来て良くなってきている部分もあるが円安、原料の高騰とマイナス部分もあり先行き不透明なため。
		福井	繊維関連	受注は増えてきているが、業界自体は上向きになっていない。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、昨年度より好調が継続しており、ウクライナ情勢により若干の受注減少はあるものの、高水準の受注が続いている。
		福井	化学・プラスチック関連	半導体不足や世界的な新型コロナウイルスの感染状況に加えて、ウクライナ情勢の緊迫による物流や原材料費高騰等の影響は大きく、引き続き厳しい状況が続く。
		福井	銀行等金融関連	企業活動や個人消費の再開により、対面型サービスにおいては景気回復の兆しがある。一方で製造業、非製造業を問わず、原材料価格が高い水準で推移し、原材料価格の高騰を製(商)品販売価格に転嫁できず厳しい状況。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	県内でも感染が高止まりしている状況で、外出を未だ控える傾向が続いている。また半導体などの材料不足や、燃料高騰の影響で、企業の設備投資計画なども遅れ気味である。
	④やや悪くなっている	家計動向	福井	一般小売店
福井			サービス業関連	オミクロンやウクライナ問題などの影響か、想定通りには客足が戻っていない。物価も上昇している。
企業動向		丹南	眼鏡関連	コロナ禍の影響は、かなり回復してきたが、材料費や燃料費の高騰で厳しい状況である。
		嶺南	化学・プラスチック関連	原油高・為替が影響している。
		福井	運輸関連	ロシアへの経済制裁の影響か、売上が減少気味となっている。
雇用		嶺南	学校就職担当者	今後戦争が長引けば、負の連鎖が続き、経済が停滞する可能性がある。現在、2023卒の求人は売り手市場であるが、今後の先行きが不安になっている。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	福井	観光関係	GoToトラベル事業等の旅行補助が始まり、需要拡大が予測されるため。
②やや良くなる	家計動向	丹南	商店街	重症患者の割合が減って人々のコロナウイルスに対する恐れが次第に緩和されているようなので、第7波が来なければ気候の良い季節を迎え、経済活動が少しずつ増えてきそうな印象を受けるから。
		福井	百貨店、SC等	ワクチン3回目接種者数が増幅することにより更なる行動支出が活性化する期待が高いため。
		坂井	スーパー	GWのJR予約数も回復しているとのことから、コロナも少し落ち着き外出需要が増え、来店客数の増を期待している。
		奥越	飲食関連	国が制限解除しているので県外からの人出が増えているため。
	企業動向	福井	建設・不動産関連	コロナ感染症が下火となっているから。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	2～3か月先で変化があるとは思えない。
		坂井	観光関係	経営状況を取り巻く環境は、ロシアのウクライナ侵攻やコロナ禍で円高、原油高、仕入れ原価の高騰となっており不安材料しかないため。
		坂井	観光関係	ワクチンの接種率が伸びないと回復傾向にはならないと考える。また、GWを挟んでまた増加傾向になる恐れがある。
	企業動向	坂井	繊維関連	現状と同様に不安定要素もあり先行き不透明なため。
		丹南	電気機械関連	半導体不足の長期化やコロナウイルスの感染状況等、先行きが不透明なため。
		福井	化学・プラスチック関連	新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした供給制約や、ウクライナ情勢の長期化懸念の影響で、食品からエネルギーに至るまで製商品の値上げの動きが相次いでおり、当面、個人消費は本格的に回復しないと思われる。
		丹南	食料品製造関連	観光部門の先行きが見通せないため。
		丹南	建設・不動産関連	ロシア情勢によって外材調達に影響が出ているため。
	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	ロシアによるウクライナ侵攻の影響による石油や金属の価格高騰など、今後も不透明な状況が続く、急激に景気が回復するは思えないため。
	④やや悪くなる	家計動向	嶺南	一般小売店
福井			百貨店、SC等	GW明けのGOTOトラベルの再開があれば変わるが現状、良くなる要素がない。
福井			スーパー	原価の上昇や電気料など販管費の上昇により物価が上がり、買い控えによる景気後退が発生するのではないかとと思われる。
福井			家電販売店	中国ロックダウンの影響で、部品の供給や輸送がストップするメーカーが出始めているため。
嶺南			飲食関連	日本の円の弱さによる輸入品や、ガソリン、あらゆるものの価格高騰、戦争による生活の不安定さなどから。
企業動向		福井	一般機械関連	会社の生産量は高水準であるが、原油高を起因とする物価高、原材料・輸送費の価格上昇など収益が悪化する要因が多く、景気が悪くなる恐れがある。
		奥越	電気機械関連	上海ロックダウンの影響が部材で発生する。
		福井	IT関連	円安による国内全体の景気落ち込みの影響を受けると見込まれるため。
		福井	銀行等金融関連	ワクチン接種の浸透もあり、経済、社会活動が徐々に正常化に向かい、対面型サービスを中心に持ち直しへの期待がある。一方で、ウクライナ情勢による影響でエネルギー価格や原材料価格が高騰し、収益を圧迫することが懸念される。
雇用		丹南	自治体労働政策担当課	新年度に入り各自治体が景気対策を打ち出すものの、未だ新型コロナ感染も落ち着かず、さらにウクライナ情勢も不透明なままで、地域経済も好転する兆しが見られない。
⑤悪くなる	家計動向	嶺南	商店街	生活必需品が軒並み値上がりする一方で、所得は増えない状況。このような中での消費活動はますます冷えていく。
	企業動向	福井	銀行等金融関連	物価高騰のため。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)